

関西宇部グループ 社長・役員メッセージ

早いもので10月に入り26年度下期が始まりました。

まず、個人的な健康に関するトピックスです。

裸足感覚で歩けるという新しい靴を買いました。特徴はクッション・ヒール・アーチサポート等便利で快適なシューズサポート機能が一切ありません。ウォーキングした感想は、最初は路面をゴツゴツ感じ、踵含めて少し痛い、歩き続けると、指や足裏・かかと・ふくらはぎの使ってなかった機能が呼び覚まされ、裸足で歩いている不思議な気がします。始めたばかりで効果は不明ですが楽しみです。ビボベアフットと言います。

事故関連。馬毛島の生コンプラント内で清掃作業中に挟まれ死亡されたとニュースありました。亡くなった方のご冥福を心よりお祈り申し上げます。我々関西宇部も決して他人事ではありません。事故が無いから安全な職場ではありません。製造・輸送面で危険予知・事故を未然に防ぐ意識をあらためて持ってください。

次に、関西宇部グループの上期を振り返ると、一番有難い労災事故ゼロが継続され、品質トラブル・設備トラブル・ガバナンス問題による可否的損失も最小限に抑えられました。損益面でも酷暑や長雨による出荷数量の弱含みはあるものの、売値やその他コスト面では予算どおり進捗して26年度損益見通しも順調に推移していくと期待します。あらためて皆様には「安全と健康を最優先に」、「コミュニケーション」と「バッドニュース・ファースト」を意識し、適正な利益を全員が生み出している事に対して深くお礼を申し上げます。

26年度から始まった中期経営戦略の進捗については、9月に内部統制部から報告を受け、取締役会でも説明ありました。各部署にアクション計画があり、9月までに実施した事、下期に行う予定を確認し、順調にスタートが切れていると確認しました。中期経営戦略だからと特別な事、全く新しい取り組みをするわけではなく、目標を立てた事、いつも地道に取り組んでいる事を継続して、個人と組織が徹底的にそれをきわめる結果が、業界No.1の生コンメーカーであり続けると信じています。

実績の一つ、「8月からの発信事項の全社内周知徹底と確認」を紹介します。

役員や各部長が発信する内容を関西宇部グループ全社内の製造社員・輸送社員・出向社員の全員へ周知する方法を工夫して、内部統制部が確認するものです。

工務・大仲部長による安定供給を守る日常点検、技術・岡田部長のヒューマンエラー防止対策、環境安全・鈴木部長による安全配慮義務違反と注意喚起、業務・池田部長による乗務員指導・監督教育です。

今回は安全配慮義務を取り上げます。ニュースで校舎の解体作業中に男性作業員（21）が死亡した痛ましい事故で会社と現場責任者が書類送検されたとありました。安全配慮義務は事故を起こさないために会社と管理者/工場長が日頃から行動する義務です。大事だと思われる3つを言いますと＜知る＞危険を把握、＜直す＞放置せず対策、＜確認する＞対策内容が実際に守られているか確認。確認するは「発信事項の全社内周知徹底と確認」に通じます。最後に、10月1日付けで複数名の管理職が昇格し、積極的な人材育成・人材登用を続けます。また、厚生労働省主唱による「全国労働衛生週間」、および日本経済団体連合会が定める「企業倫理月間」が始まりました。

社員の誰もが安心して健康に働ける職場作りへの積極的な推進とご協力をお願いします。

2026.10.7

代表取締役 太田正彦